



2024年2月6日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード: 3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役常務執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6565)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2024年2月6日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月10日の2023年3月期決算発表時に開示した2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	400	210	200	6.64
今回修正予想(B)	4,060	300	110	120	3.97
増減額(B-A)	▲640	▲100	▲100	▲80	
増減率(%)	▲13.6	▲25.0	▲47.6	▲40.0	
(参考)前期連結実績 (2023年3月期)	3,997	214	22	69	2.29

2. 修正の理由

- (1) 連結売上高においては、前年比+1.6%の増収を見込んでいるものの、冬物衣料や冬物寝具等の冬物商材が暖冬の影響で計画を下回る見込みとなったことや、コロナ明けで大きな伸びを期待していた健康商材が伸び悩んでいることを主因に、当初の業績予想に比べ6億40百万円の減収(13.6%減)となる見通しです。
- (2) 利益面では、連結営業利益は前年比+39.9%の増益を見込んでいるものの、連結売上高が当初の業績予想を下回ることの影響に加え、商業施設事業において第2四半期決算で計上した資産除去債務や設備更新の前倒し実施による経費増などの一過性の経費負担増を見込むため、当初の業績予想に比べ1億円の減益(25.0%減)となる見通しです。
- また、営業利益の予想比減少に伴い経常利益の業績予想を1億円減少(47.6%減)した水準に修正し、これに2024年1月10日付開示済みの中国連結子会社の解散に伴う特別利益19百万円を考慮する結果、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を80百万円減少(40%減)した水準に修正します。この結果、前年比では連結経常利益が+388.3%の増益見通しとなり、親会社株主に帰属する当期純利益は+73.6%の増益見通しとなります。
- (3) なお、単体における当期純利益は1億80百万円を見込んでおり、配当予想に変更ありません。

これは、単体決算において、2024年1月10日付開示済みの中国連結子会社の解散に伴う特別利益（関係会社清算益）43百万円の計上を見込んでいることや、子会社の損益見込みの影響を受けないことによるものです。

（注）上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上